

編集後記

ドイツ語学研究の第 12 号をお送りいたします。

第 11 号が出版されたのは 2004 年でしたので、10 年近く沈黙していたこととなります。もはやおわびのことばも見つかりません。

ただ、冠詞研究会では関口存男の主著『冠詞』のダイジェスト版を出版しようとしており、ここ数年はそのことに従事しておりました。2012 年 5 月 19 日（土）には日本独文学会春季研究発表会で、このダイジェスト版に関するシンポジウムを開きました。本号に寄稿されている佐藤清昭氏、田中慎氏、高橋亮介氏の論文はこのシンポジウムの草稿をもとにして書かれたものです。また、本号に登場している内堀大地氏と柳田亮吾氏は、冠詞研究会を支えている若き研究者です。

なお、この間、冠詞研究会に長年参加してくださっていた有田潤先生がご逝去されました。ダイジェスト版をつくることは不可能であるというご意見をおもちでしたが、作ってみて、お見せしてご判断を仰ごうと思っておりましたが、それもかなわなくなりました。それでも、きっと遠くから私たちを見守ってくださっていると思います。

なお、本号の論文のうち、執筆者が許可してくださったものは、PDF の形で冠詞研究会のホームページにアップされております。第 13 号の原稿募集についても同じく、ホームページに掲載しますので、そちらをご覧ください。<http://artikel.aikotoba.jp/> (文責：山下)